

## 4080問題

1例に過ぎませんが、子離れできない親が、子どもをひきこもらせる現実があるんですね。

精神科の診断を受けた息子だから働けないと親は諦めていたんですが、その母親の知人から私を紹介され、この2月、40代後半の男性を連れて、まさしく80代の母親が相談に来ました。

国立大学大学院中退という学歴を持つその男性の話を聞いた私は、約2カ月のカウンセリングを行った後、私達が提携する寮を持つ就労支援の施設に彼を繋ぎました。

そこで彼は半月間いろんな検査を受け、適性等を鑑み、提携する工場に派遣として行き、そこでいろんな技術を身に着けたいと、約1年後の自活生活に向けて寮生活を始めたんです。

ところが、1週間も経たずして、母親は「精神病の息子は無理をして寮生活をしている」と、その施設に電話してきたんですね。それから、週に2回は電話してくるんですね。息子を信じて見守って下さい、と私が言っても、我慢して生活している息子がかわいそう、施設のスタッフの皆さんは息子のことを分かっていないと訴える。よく話し合っているスタッフには、本人は何も無理をしているわけではないと言い、二人部屋を望んで寮生活をスタートしていたんです。

また、聞けば、その精神科の診断も、母親は医師が初診で本人と問診して診断したと言いますが、その後は本人とは一度も問診もせず、医師が母親から彼の状態を聴き、20数年間、手帳を更新しているとのことなんです。

このように子離れできない親の過干渉が、子どもをひきこもらせてしまう現実もあるんです。子どもが心配なのは分かりますが、もう40代の立派な大人。子どもの自立を信じて見守ってほしいんです。

子どもを信じて見守る。不登校にならない育て方と同じく、親にも信じる力、忍耐力も必要なんですね。

結果、彼は11カ月後、某市内の介護施設の仕事が決まり親元を離れ、アパート暮らしで自立しました。

(2022年6月4日放送 FM島田「ひげぐま先生の相談室」から)